

アカエゾマツの森



阿寒摩周国立公園

一斉に芽吹いたアカエゾマツの森

川湯のアカエゾマツの森は亜寒帯に位置し、摩周岳と硫黄山の噴出によって放出された軽石や火山灰が降り積もった大地に一斉林として成立しています。

この大地は土壌生成の途中段階にある未熟土になっていて、礫が多く、酸性の傾向があります。

植物の生育にとっては極めて厳しい環境ですが、アカエゾマツはこの場所を選びました。この森をよく見ると、同じアカエゾマツでも成長に差があるのがわかりますが、これには土壌や周辺環境が大きく影響していると考えられます。

木の高さ



アカエゾマツ ■マツ科

常緑樹で高さは 30~40m、太さ 1~1.5mになる。本道の東部や北部の山中に多く、蛇紋岩地帯や湿地、砂丘、火山灰地にも生える。トドマツやエゾマツと混生するが、ときに純林をつくる。

葉：線形で長さ 0.5~1.2 cm、横断面は四角形

花：雄花は長さ 1.5 cm、帯紅色で黄色の花粉を出す。雌花は紫紅色で長さ 3 cm、5~6 月開花

球果：長さ 5~8 cmの円錐形で下垂、9 月に熟成し、暗紫色になるが、まれに緑色または黄緑色になるものがあり、アオノミアカエゾマツという

樹皮：黒赤褐色で不規則な鱗片状にはがれる

分布：北海道、本州（早池峰山）、南千島、サハリン南部

用途：建築材、楽器材（特にピアノの響板）、器具材、公園・庭園樹など

土の時間

今から 200 年程前のある時にアカエゾマツは一斉に芽吹き、長い年月をかけてアカエゾマツの純林をつくってきました。しかし、ここはアカエゾマツにとって厳しい生育環境になっています。

この森では、同じ年月を経た他の森と比べて年輪の幅が狭く、幹が細く、木の高さが低いアカエゾマツを見ることができます。

この森のアカエゾマツは他の森と比べると比較的成長が遅いと考えられます。森の地面はやわらかく肥よくな土のように感じられますが、これはアカエゾマツの葉などがたい積したもので土と呼べる部分はわずかしがなく、その下には摩周岳や硫黄山から噴出された火山灰などが広がっているのです。

この森で見られるお花や生きものたち

お問い合わせ
川湯エコミュージアムセンター



開館日/開館時間

4月~10月 8:00~17:00

11月~3月 9:00~16:00

休館日 毎週水曜日（7月第3週~8月

31日は無休、水曜祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日~1月3日）

入館料 無料

088-3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉 2-2-6

TEL 015-483-4100

FAX 015-483-4111

URL <http://www.kawayu-eco-museum.com/>



ゴゼンタチバナ



ヤマドリゼンマイ



アカゲラ



エゾシカ



マイツルソウ



コエゾゼミ



シジウカラ



キタキツネ



ハクサンシャクナゲ



ヤマゲラ



ウソ



エゾリス